

はばたき21

男女平等推進プラザ
「はばたき21」って
どんなところ？

通信

2015.3
No.29

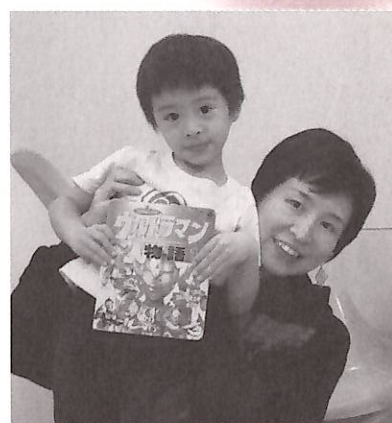


- “地域のチカラ講座”紹介
- パパ達のワークライフバランス事情
- 男女平等推進フォーラム ワークショップ
- ホッとひと息 交流の場 コミュニティ・カフェ レポート
- 「はばたき21」は、こんなところですよ！ ●たいとうのキラッとさん紹介

台東区男女平等推進基本条例が制定・施行されました。

育児がもっと楽しくなる！

かんたんイラストで 初めてのコミックエッセイ



くどう あさこ
工藤 亜沙子 さん

台東区在住。イラストレーター。一児の母。自身のサイト「ヤマハチ図案」
URL: <http://www.k4.dion.ne.jp/~yama8/top.html> に
子どもの観察日記を4コマ
コミックで連載中。

昨年度行われた「地域のチカラ講座」のひとつ『かんたんイラストで初めてのコミックエッセイ』は、受講生の満足度大。「お互いの育児ネタをおしゃべりできて楽しかった」「先生のマネをするだけでかわいくエッセイ風に描けた」「日常生活の中で気楽にイラストを描けるようになった」「イラストがちな子ども

の行動も、ネタになると思えば笑い飛ばせる」等々。中には「終わりがたくなかった」という声もあるほど好評でした。講師の工藤亜沙子さんにお話をうかがいました。

——講師をやってみようと思ったきっかけは何ですか？
「声をかけてくれた人がいて。なんでも経験だと思って引き受けました。」

——具体的な内容は当初から決まっていたのですか？
「参加した方たちが子育ての話をしながら、気軽に絵を描けるようになる講座にしたいと思っていました。そして、3回あれば、最終的に4コマのコミックエッセイにできるのではないかと、組み立ててみました。」

最初は絵を描いた経験のある方とない方とで差がありましたが、最後は全員が作品として仕上げる事ができてよかったです。」
——4コマ仕立てにしようと思ったのはなぜですか？
「子育て日記をつけている方は多いですが、4コマのコミックで残す方はまずいないと思ったのです。文字で書いているとつい長々と書きたくなるし、どうしても主観的になりがちです。書いた時には満足するけれど、読み返す時に大変なエネルギーが必要ですし、とても他の人

には読ませられないですよ。絵にすればパッと見てわかるし、何回見ても疲れない。さらに、4コマにするとたいいてい笑えるものになるんです。」

4コマ作品を作る過程は 自分の心の整理になる

——上手に4コマにするコツはありますか？
「コツは、文字を少なくすることです。絵で表現できることは、全部絵で表現する。」

4コマというのはかなり制限があるので、描きたいことがたくさんあっても、それを削って削ってまとめていく作業です。そうしているうちに、腹立たしいことでも気持ちが収まってきて、全部笑いに変わったります。心の整理ができるのでしようね。自分の子育てを客観的に

見られる良い機会です。」
——受講生のみなさん大満足のようにでした。ご感想は？
「絵を描いている間は静かなので、みなさんがどのように感じているのかわからなかったのですが、喜んでいただけてうれしいです。」

最後の3回目は全員の作品をみんなで鑑賞しました。批評はなし。見て笑って、この話よくわかる、可愛いねえ、こんなことあるあるなど、子育てのさまざまなことが、自分だけではないと思える時間を作れたかったのです。」
——区民が講師になるという「地域のチカラ講座」について。
「台東区は人材が豊富だから、できることだと思います。自分が受講するとしたら、体を動かすエクササイズや外国語、モノ作りに興味がありません。講師になれる方は大勢いらっしゃると思います。」

楽しく子育て話をしつつ 絵が描けるようになれば

——講師をやってみようと思ったきっかけは何ですか？
「声をかけてくれた人がいて。なんでも経験だと思って引き受けました。」

講座1回目

イラストの描き方から始まります。講師オリジナルの「おてほん帖」も参考にしながら、人の顔、動物、のりものを描いていきます。

まずはゆっくりと。初めてイラストを描く人もひとりで描けるようになります。



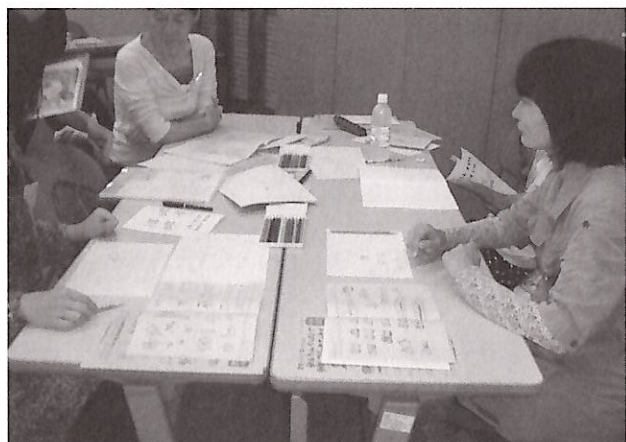
講師の工藤さんの説明は具体的でわかりやすい

講座2回目

それぞれ子育てのシチュエーションを絵に描き、お話に仕上げていきます。誰もが描きたいことがたくさんある様子。受講生一人ひとり、講

講座3回目

いよいよ最終回。できあがった作品の鑑賞会です。台風接近による悪天候にもかかわらず、集まった受講生たちはお互いの作品を見ながら、わいわいと子育て談義。作品のエピソードに「あるある」と頷いたり、笑顔のあふれる楽しい講座になりました。



どんな話にしようかしら……

師からアドバイスを受けながら、4コマ作品に挑戦していきます。自分だけの作品を完成させようと、この日はスパークがかり、その勢いは講師も予想外だったようです。

受講生のみなさんの作品の一部です



完成した作品はどれも頷ける話ばかり



●今回紹介した講座は、日々の子育ての苦労や笑えるエピソードなどをかんたんなイラストや短いエッセイ風のことで表現し、子育て仲間同士で分かち合い、自分らしい育児を楽しむことを目的として実施しました。
●地域のチカラ講座事業は、男女平等の推進や地域の人材育成を目的に、区民の方が講師となつて講座を企画・実施するものです。
※応募・問合せ 男女平等推進「はばたき21」 ☎03(5246)5816

昨年9月27・28日に行われた第21回男女平等推進フォーラムは好評のうちに終了。特に28日に行われた小室淑恵さん(株式会社ワーク・ライフバランス代表取締役社長)の講演会には30・40代を中心に多くの方が来場。講演の中で小室さんは「私たち日本人は家庭や私生活を犠牲にして働いてばかり」「長時間労働なのに仕事の成果は最低クラス」「残業をしないようにするために個人がスキルアップし、働き方の見直しが必要」「私生活の充実によって、仕事の質や効率も高まる」と述べています。

この講座の参加者の中から台東区のパパお二人にご自身のワークライフバランス(以下、WLB)事情について聞いてみました。

～小室淑恵さんに聞いてみよう「仕事と暮らしの幸せな関係」を聞いて～ **パパ達のワークライフバランス** (仕事と生活の調和) **事情**

●小室淑恵さんの講演会、いかがでしたか?

多川 小室さんの話を直接聞き、うんなるほどと思うことも多かったが、実際残業を少なくするという点については、僕としてはまだなかなか難しい部分もあるなと思いました。

石田 確かに難しい部分はあるとはいえ、前に進まないこと。小室さんの話の中で出てきた仕事の仕方、働き方、会社の組織のことなど具体的なものが良かったですね。僕も自分の時間の生産性をもっと考えなければと感じました。このところ仕事に時間をかけちゃって、時間で解決するようなどころがありましたね。時間内の生産性が低かった。これは反省点ですね。まずは自分自身の時間内生産性をあげて仕事を早く切り上げるしかないと感じました。

多川 確かに時間をかければかけるほどその仕事の完成度は高くなり、その結果として、仕事の評価も高くなる。現在の評価のされ方はボーナスなら、半期(6か月)の最終結果で仕事の完成度・総量によって評価されるので、時間をかけた人が勝者になる。ゴールなきチキンレースをさせられていて、子育て世代で上を目指している人達は、みな、疲労困憊しています。だから、評価の仕方

を仕事の効率(生産性)に変える必要があると思います。その方が会社の経営の観点からも良いはずです。

●残業時間はどれくらい?

石田 時期にもよりますが、今頃は過酷ですね。会社からも早く帰るように言われているけれど、だったら早く帰れるようにしてほしいと思いますね。上司がとても残業が多いんです。本当なら自分が申し出て、上司の仕事の負担を減らすべきなんでしょうが、そうすると今度は自分の仕事量が増えてしまい、帰宅時間がますます遅くなる。結局、仕事と家庭の板挟みの状態です。

「ワークライフバランスに不満」

日本が1位、少子化にも反映?

WLBに不満をもつ人の割合は、日本が世界24カ国のうちで1番高い。これらの国々は、合計特殊出生率が1.3以下で、少子化の傾向が共通であり、WLBと少子化には相関関係がありそうです。

ワークライフバランスに満足していない割合

1	日本(16%)
2	オーストラリア(11%)
2	ロシア(11%)
4	カナダ(9%)
5	ギリシア(8%)
5	スペイン(8%)
7	米国(8%)
8	ドイツ(7%)
9	ポーランド(6%)
9	中国(6%)

国際労働機関・リサーチ・インスティテュートによる「仕事と家庭の調和(ワーク・ライフ・バランス)に関する世界意識調査 2006年8月」より

仕事をしていても帰らなやと思うけれど、帰れない。自分だけが定時に帰ったら、周りから浮いてしまいますしね。残業していることに対しての罪悪感もある。罪悪感を抱えながら仕事をやってるのが日常です。妻が7時は魔の時間って言っています。子どもが騒ぐ中で食事をさせて、自分の時間はまったく無くて、子どもを寝かしつけてから自分の仕事を再開している。妻にもものすごく大変な思いをさせているとわかっていて、そこで自分が早く帰ってフォローできれば、家族の関係も変わっていくのは百も承知だけれど、帰れないというジレンマの日々。じゃあ、思い切って残業しないで帰ればいいとも思うけど、なかなかそれもない。そんな人はたくさんいるんじゃないかな。

れば、個人で就業がコントロールできると思います。僕は上の子が11か月の時、1か月間育児をとったんです。その時、本当に子育てのつらさや大変さを痛感しました。だからその分、自分でできることは何でもやるうとしています。育児をとった時、同僚は好意的でしたが、直属の部長からの理解が得られず、最後まで認めてもらえませんでした。でも、強引にとっちゃいました。(笑)

●自分自身のWLBは?

石田 小室さんもおっしゃっていましたが、若い頃から地域活動をしていて、定年退職後、なかなか地域に溶け込めない。だから今は忙しくて、町会や台東パパコミュニティの活動をしています。子育て中のママにママ友が必要ないように、パパにもパパ友が必要じゃないかと。

多川 ママでもママ友がない孤立化の問題があるけれど、パパにも同じことがいえる。

石田 そう考えて2年前に孤立するパパの連携を深め、ストレス解消の場として台東パパコミュニティを作りました。昨春秋に「たいとうパパスクール」(5回連続講座)を企画、1回目の講師にファザーリング・ジャパン(以下、FJ)代表の安藤哲也さんに講師に来ていただきました

た。安藤さんも子育て世代の父親に向けて、小室さんとはまた違った視点でWLBの話をしてくれました。

多川 WLBに対する社会の意識を変えるには、小室さんの考えは「国全体として今後、少子高齢化がどんどん進むと、日本社会が立ちいかなくなるという視点で、どうするべきか?」という制度からの変革と、安藤さんの「具体的にパパはどうするアプローチが必要ですね。お上が変わればと言いますが、そういう点ではもっと行政が率先して男性の育児をとってほしいですね。一昨年度、台東区役所では男性で育児をとった人は二人だったそうです。

性が従業員や部下の育児参加に理解のある経営者や上司のこと)ももっと増えてほしいです。だから今回のような講演は経営者や管理職の方にこそぜひ聞いていただきたい。そうすれば、男性の育児参加や地域活動に使える時間が増えて、日本のWLB満足度も上がると思いますね。

石田 WLBに関する意識を変えるのはなかなか難しく時間はかかると思いますが、このままだと日本は働き手が不足し、経済も破綻してしまいます。だから一人ひとりがこの問題を真剣に考えて、少しずつでも変えていかなければと思います。残業を減らして子どもが小さい頃から父親が家事や育児に参加していれば、それが当たり前になる。そして、地域のつながりも大切にして、子どもも大人も高齢者もみんなが笑顔で暮らせる社会にしていきたいですね。



たか とうる
多川 徹さん
台東区西浅草在住の40代。会社員。妻(育休中)と1歳と3歳の女兒のパパ。
台東パパコミュニティ メンバー。

台東パパコミュニティとは



台東区を拠点にする、パパの、パパによる、家族のためのコミュニティ。一緒にパパから笑顔を広げよう。参加希望の方はホームページをご覧ください。

<http://taipapa.com/>



いし だ たかひろ
石田貴宏さん
台東区谷中在住の30代。会社員。妻(フリーライター)と2歳の女兒と4歳の男児のパパ。
台東パパコミュニティ代表。

柳原白蓮が教えてくれること

—連続テレビ小説「花子とアン」の蓮子

講師 五十川チトセさん(台東区男女平等条例をまなぶ会)

NHKの連続ドラマで評判になった「花子とアン」、花子の腹心の友として登場した蓮子、実際は柳原白蓮が注目を集めました。白蓮の人生をたどってみましょう。

白蓮の結婚・離婚と恋愛事件

「白蓮事件」が世間を騒がせたのは大正11年、大阪朝日新聞に、夫への公開絶縁状が発表され、これで大騒ぎになったのです。妻から夫への絶縁状、しかも公開絶縁状というのは前代未聞でした。この夫婦は、妻、白蓮(本名輝子)が伯爵令嬢で、大正天皇の従妹。夫、伊藤伝右衛門が、九州の炭鉱王で億万長者。駆け落ち相手、宮崎龍介は7歳年下の帝大(今の東大)生でした。新聞が毎日書きたてました。この事件が女性たちに与えた衝撃、勇気、希望はかり知れません。忍従するしかない女性たちが、元気をもらったということ。反面、白蓮はひどい女という抗議もたくさん寄せられました。当時は離婚は罪悪でした。しかも姦通罪というのがあり、女性には罰せられました。白蓮は離婚成立前に子どもを産んでいます。今でも、離婚後300日以内に生まれた子は前夫の子としてしか届けられない。そういう民法が今も生き

ています。でも伝右衛門は「俺の子ではない」と明言したので、龍介と白蓮の子として入籍することができたのです。伝右衛門は離婚を承諾し、一族郎党を集めて、「この事件については末代まで、一言の弁解も無用」と言い渡しました。一代でたたき上げた人ですが、才覚と人望がなければ、成功はできないです。一種の人格者でした。学校をつくって、県に寄付をしたり、育英会の奨学金を作ったりと、教育にお金を使った人でもあります。生まれ育った階層、価値観があまりにも違う夫婦の悲劇だったともいえます。

白蓮の多岐にわたる活動

白蓮・龍介の間には3年間に700通の文通がありました。結婚後、龍介が略血し、療養した3年間は、短歌、小説、戯曲、随筆、評論、童話などで稼ぎました。「母はいつも机に向かっていた。母のおかげで、私たちは不自由



家族とともに(左から白蓮、落芝、龍介、香織)



柳原白蓮

な思いをしたことがなかった」と娘の落芝は書いています。「あの人のところに行けば助けてもらえる」と逃げてきた吉原の遊女をかくまったり、中国からの留学生の世話をしたりという活動もしました。

昭和20年8月、戦争の終わる4日前に、学徒出陣した息子の香織を鹿児島の特攻基地で失います。その悲しみのなか、同じように戦争で子どもをなくした母たちとともに、「悲母の会」をつくりました。これが「国際悲母の会」となり、世界連邦婦人部へと発展したのです。講演で全国を回りました。日本では湯川秀樹博士が主導。平塚らいてうも一時熱心に携わりました。

白蓮から学ぶことは

白蓮の人生は生母を知らぬ生い立ち、2度の破綻した結婚、愛児との生



講演する五十川さん

別と死別など波乱に満ちたものでしたが、社会活動、平和運動にも力を尽くしました。

私たちは白蓮の生き方に何を学びましょう。幸せな後半生は自ら闘い続けたものでした。どんな境遇になっても諦めず、前をめざしました。当時のふつうの女性だったら最初の結婚で諦めた人生を送ったことでしょう。伝右衛門と結婚してからは、お金が自由に使えるのだから、これだいいと思ったでしょう。白蓮はそうではなかった。今の生活を壊してでも、つぎの新しい人生を求めたのです。世間の勢に流されずに生きたのです。世間の噂に負けないで、自分の道を貫いたのが、白蓮でした。

私の最も好きな白蓮の歌を紹介して終わりたいと思います。

瞬間は稲妻のごと来たり去る
その束の間をわれ人にして生く
瞬間は平等に与えられています。瞬間瞬間をよりよく生きていく、そのことが大事だとこの歌は教えてくれているのではないのでしょうか。

白蓮と台東区の意外なつながり
*生母奥津りょうは柳橋の芸者でしたが、お墓が谷中の妙円寺にあります。
*白蓮と伝右衛門の見合いが上野精養軒で行われたといわれています。
*白蓮の戯曲が上演された市村座は、猿若町から移転して下谷二長町にありました。現在の三井記念病院の斜め前あたりにあります。

ホッとひと息 交流の場

コミュニティ・カフェ レポート

毎月第3土曜日の午後2時から4時に開催

「コミュニティ・カフェ」の魅力を探るべく、コミュニティ・カフェ運営委員の皆さんに、エピソードなどをうかがいました。

※コミュニティ・カフェは、公募で選ばれた方がコミュニティ・カフェ運営委員となって、「はばたき21」と協働で開催している事業です。

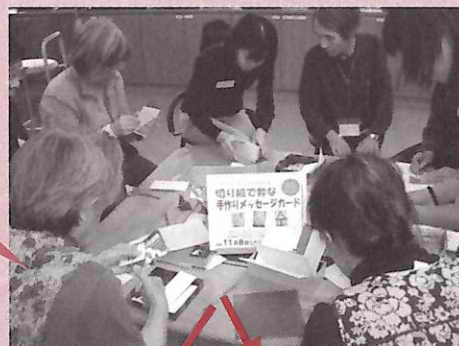


参加者は毎回 30人〜40人!

12年前、有志で立ち上げた頃は、数人の参加者しかいなかった「コミュニティ・カフェ」。徐々に口コミや広報活動で広がり、今では毎回30人〜40人が参加。イベントなどを企画したときには、60人ほどの参加者で賑わっています。

常連さんは、気前がよく 気さくな人が多い

参加者の中には、自家製のハーブをもってきて、ハーブティーをふるまってくれる方、折り紙持参で参加され、サンタクロースやカエルなど、楽しい折り紙を教える方、趣味ではじめたというタロットカードをもってきて占ってくれる方など、色々な方が参加されていて、おひとりでも来られる雰囲気があります。



こんな楽しいところがあったなんて、知らなかった。毎回来よう!

”地域のチカラ講座”の講師も参加

区民の方が講師となる「地域のチカラ講座」。その講師が、自ら講座の予告や、講座後のフォローなどに活用されることも多い。

昨年10月に開催した「ソフトパステルを使った『花色ワーク』で癒しの時間」の講師が、12月のカフェで「クリスマスアート」の描き方を教えたり、11月に開催したフットケアの講師が、足の手入れの相談を受けたりして、地域でのつながりがゆるやかに広がっています。

コミュニティ・カフェ

日時：毎月第3土曜日 午後2時〜4時
場所：男女平等推進プラザ「はばたき21」
(生涯学習センター4階) 調理コーナー
主催：男女平等推進プラザ／
コミュニティ・カフェ運営委員会

カフェ委員がFacebookで発信

コミュニティ・カフェ運営委員が、Facebookでコミュニティ・カフェのページを作成し、毎回カフェの様子を発信しています。

こんな風に、人と人が世代を超えてつながっていける交流の場があることを、ひとりでも多くの方に知ってもらいたいと思っています。

予約不要 参加費無料

コミュニティ・カフェ

お気軽に どうぞ

話してスッキリ! 心のうさが晴れるかも

委員さん手作りの看板

偶然×偶然の 出合いが面白い!

自主映画を制作しているという大学生が参加され、なんとカフェ委員のひとりが、その映画に出演することになったというエピソードも!

「はばたき21」は、こんなところです！

(生涯学習センター4階)

①資料作成室

グループ活動の資料作りなどにご活用ください。コピー機(有料)などを設置しています。
※利用の際には制限があります。詳しくはお問い合わせください。

②情報コーナー

男女平等の推進に関わる図書や資料を集め、誰でも気軽に利用できるコーナーを提供しています。台東区立図書館の利用カードで合わせて1人15冊まで2週間以内で貸出しもしています。貸出しは、4階受付で行っています。

自由に閲覧できる
ゆったりとしたスペースがあります。

③403・404企画室 (有料・予約制)

研修会・学習会・講演会などに使用できます。各部屋24名定員。

仕切りをとった場合、
48名まで使用可能です。

⑤活動交流コーナー

男女平等の推進に関わる活動をしている個人・グループの活動や交流スペースとして利用できます。予約席(無料・6席)を設けています。

空いている時は
自由に使えます。

④調理コーナー(有料・予約制)

調理台(電磁調理器)3台(定員20名)予約利用がないときは、交流スペースとして利用できます。

男性の料理教室にも
使われています。

はばたき21相談室

ひとりで悩んでいませんか？どうぞお気軽にご相談ください。

☎ 03-5246-5819 (予約専用)

●こころと生きかたなんでも相談

女性のカウンセラーが相談に応じます。

火・土 10時～16時

水・木 17時～21時

～電話・面接どちらも可～

※面接相談は女性のみ。電話相談はどなたでもご利用いただけます。

●女性弁護士による法律相談

第2水曜日 13時～16時

第3木曜日 10時～13時

第4火曜日 16時～19時

～面接相談(女性のみ)～

秘密は
守ります

相談は
無料です

DV 専門電話相談 03-3847-3611 (予約不要)
毎月第3水曜日 13時30分～16時30分

こころと生きかたなんでも相談は
託児をご利用いただけます。
(火曜日・土曜日のみ) ※要予約・無料

たいとうのキラッとさん紹介

の も と ひ さ え
野本 久恵さん

人権擁護委員(12年)・寿一丁目町会女性部部长(7年)
はつらつサービス協会委員(20年)

生まれも育ちも台東区で生粋の下町っ子。

「じっとしているのが苦手。人と接するのが大好き」

子育て時代からPTAの役員、青少年委員、男女共同参画委員長などを歴任。『人間は皆、平等』をモットーに活躍中。

ウォーキング歴は 30 年。得意の裁縫を生かした小物作りでは作品をお年寄りにプレゼントするなど、「自分も相手も楽しくなることはうれしい」と終始笑顔でお話をされる野本さん。

〔オン・オフ〕の切り替えがお見事。なんとも魅力的な女性です。



編集・発行

台東区立男女平等推進プラザ「はばたき21」

台東区西浅草3-25-16

(台東区生涯学習センター4階)

電話 03-5246-5816

※休館日以外の9時～17時

開館時間 9時～22時

休 館 日

第1・第3・第5月曜日

(祝日にあたる場合はその翌日)

年末年始(12月28日～1月4日)

情報誌編集委員

石田真理子・浮ヶ谷洋子・小島智史

桜井由紀・山下有里子

ホームページ **はばたき21** 検索

